

生物学史研究

The Japanese Journal of the History of Biology

No. 105 2025 年 5 月

シンポジウム：ヒトとモノからみる公衆衛生史

はじめに 川端 美季・住田 朋久

日本のインフルエンザ等マスク —— 政府行動計画、「マスク

着用等の咳エチケット」への変更の意味 —— 住田 朋久

感染症サーベイランス小史

—— サーベイランスはどのように定着したか —— 横田 陽子

1920-1930 年代日本における歯科衛生キャンペーンの背景

—— 専門知・モノ・環境 —— 宝月 理恵

公衆浴場を必要としたのは誰か

—— 入浴と清潔をめぐる近代史 —— 川端 美季

雑誌『療養生活』にみる療養住宅と換気の実践 西川 純司

コメント 柏崎 郁子

研究ノート

自然観察と自然保護教育 —— 青柳昌宏の教育理念の背景を探る

内田 啓子

翻訳

家業としての科学：元炳^{Transwar}と韓国鳥類学の貫戦史的起源

玄在煥（岩本雄伍訳）

会報

日本科学史学会生物学史分科会
編集・発行

ISSN 0386-9539